

1 本校沿革の概要

明治 6 年 5 月	川村貫穿支校の湯触学校が川西村 4 0 6 大蔵野長光院本堂を借りて開校される。
明治 8 年 3 月	第 1 大学区第 2 8 中学区第 1 0 5 番小学校として湯触学校の分校が中川村 1 1 1 番地に開校される。学区は中川村、世附村、玄倉村、これが本校のはじめである。
明治 23 年 10 月	小学校令施行とともに中川村、世附村、玄倉村 3 ヶ村が連合し、中川村 1 1 1 番地に尋常中川小学校設置する。
明治 42 年 4 月 1 日	中川村ほか 2 ヶ村組合を解き三保村設置の結果、尋常三保小学校と改称する。
明治 42 年	越田に仮分教場を設置し、子女を収容して教育を施す。経費一切を地区が負担する。
大正 6 年 3 月 15 日	(高等科併置認可) 尋常高等三保小学校と改称される。
大正 7 年 1 月 28 日	尋常高等三保小学校大又沢分教場が設置される。
大正 9 年 9 月 1 日	未曾有の大洪水に遭遇し甚大なる惨害を被り、大又沢分教場を閉校する。
大正 10 年 4 月 25 日	再び大又沢分教場を開校する。
大正 12 年 4 月 1 日	尋常高等三保小学校と改称される。
昭和 16 年 4 月 1 日	国民学校令により、三保村国民学校となる。
昭和 22 年 4 月 1 日	学制改革により、三保村立三保小学校となる。
昭和 30 年 2 月 1 日	町村合併により、三保村、清水村、共和村は山北町に合併。山北町立三保小学校と改称される。
昭和 34 年 3 月 20 日	大又沢分校廃校となる。
昭和 41・42 年度	文部省へき地教育研究指定校となる。
昭和 47 年 7 月 12 日	集中豪雨により三保地区が甚大な被害を受け、本校校舎は避難所になる。
昭和 49 年 11 月 23 日	三保の全地域を上げて開校百年記念式典が挙行される。
昭和 49 年度	ダム建設水没移転のため、児童 1 4 7 名中 7 2 名が他の学校に転出する。
昭和 53 年 1 月 14 日	三保小中学校及び三保支所、三保幼稚園等の山北町三保公共施設合同落成式が挙行される。
昭和 54 年 11 月 3 日	健康優良学校全国優秀校として表彰される。
昭和 55 年 2 月 29 日	健康教育の研究発表会を開催する。
昭和 58 年 12 月 2 日	算数科研究発表会を開催する。
昭和 60 年 2 月 20 日	算数科研究発表会を開催する。
昭和 63 年 2 月 1 日	ふれあい教育実践発表会を開催する。
平成元年 12 月 7 日	県教育委員会の教育課程(社会科)研究推進校として発表会を開催する。
平成 2 年 1 月 25 日	県教育委員会の教育課程(社会科)研究推進校として発表会を開催する。
平成 5 年 12 月 1 日	生活科、理科研究発表会を開催する。
平成 6 年 4 月 1 日	特別支援「あけび学級」新設される。
平成 7 年 4 月 1 日	神奈川県愛鳥モデル校の指定を受ける。神奈川県研究推進校を受ける。
平成 10 年 1 月 26 日	公開授業研究会(三保タイム・総合)を開催する。
平成 10 年 11 月 24 日	公開授業研究会(三保タイム・総合)を開催する。
平成 11 年 11 月 22 日	公開学習研究会(総合的な学習の時間)を開催する。
平成 13 年 10 月 26 日	全国へき地教育研究大会神奈川分科会を開催する。
平成 16 年	旧三保中学校体育館耐震改修工事
平成 19 年 12 月 6 日	算数科研究報告会を開催する。
平成 19・20 年	神奈川県地区別性・エイズ教育推進事業指定校として研究を進める。
平成 23 年	かながわ学びづくり推進事業を進める。
平成 26 年 7 月～8 月	特別支援学級(つばさ級)扇風機設置、校長室エアコン設置、本校舎屋上屋根の縁改修工事
平成 26 年 12 月 2 日	タイムサーバー親時計交換設置(職員室)
平成 28 年 1 月	太陽光パネル・風力街路灯設置(職員駐車場)
平成 29 年 10 月	防犯カメラ設置
平成 30 年度 8 月	教室にエアコン設置